

日本骨髄バンクの現状（2018年3月末現在）

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,570	2,067	483,879	731,038
患者登録者数	211	205	3,715	53,368
移植例数	103	106	—	21,788

■3月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,111人
20代	72,038人
30代	137,595人
40代	207,807人
50代	62,328人

■3月の20歳未満の登録者 162人

■3月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／910人、献血併行型集団登録会／1,105人、集団登録会／0人、その他／52人

■3月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：463件

■骨髄バンクを介して2回提供された方（累計数）：1,578件

■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）：814件

■国際協力の現状（2018年1月～2018年3月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数：1件（NMDP） 累計移植数：188件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数：3件（KMDP1、NMDP1、トルコ1） 累計提供数：269件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 2017年度の移植数1,241件、ドナー登録者数34,990人

■移植数

2017年度の移植数は1,241件で、前年度（1,250件）より9件減少しました。内訳は〔国内ドナー⇒国内患者〕が1,233件、海外バンクを介した〔海外ドナー⇒国内患者〕が1件、〔国内ドナー⇒海外患者〕が7件でした。末梢血幹細胞移植は182件で、前年度に比べ59件増加しました。患者登録者数は、前年度の3,022人より268人少ない2,754人（国内2,118人、海外636人）でした。

■ドナー登録者数

ドナー登録者数は、2018年3月末現在483,879人となっており、2017年度の新規登録者数は34,990人で前年度比2,731人増となりました。登録窓口別の内訳は、①献血併行型登録会が23,348人（前年度比1,493人増）、②日赤固定窓口（献血ルーム等）が10,612人（前年度比1,267人増）、③集団登録会が467人（前年度比9人減）でした。

今後も一人でも多くの患者さんに移植の機会を提供できるよう、一層努力してまいります。

2 2018年度の事業計画・予算について

2018年度の事業計画と予算が第12回通常理事会（3月29日開催）で可決承認されました。

コーディネート期間短縮や若年層ドナー獲得、ドナーリテンション推進など5つの目標を掲げました。収支予算は差引ゼロベースで組んでいます。移植件数の推移を見つつ適切な執行に努めます。

3 読売巨人軍・公式戦会場で骨髄バンクドナー登録会

4月24日（火）読売巨人軍 VS 中日ドラゴンズ戦が行われる長野オリンピックスタジアムで、骨髄バンクドナー登録会を開催します。来場者の方へジャイアンツ公式マスコット「ジャビットファミリー」のステッカーを配布します。2月の宮崎・那覇キャンプ登録会に続き、多くのファンや地元のみなさんと交流を深め、ドナー登録を呼びかけます。

5月23日（水）読売巨人軍 VS 広島カープ戦が行われる茨城ひたちなか市民球場でもドナー登録会を予定しています。



巨人ファンの皆様！ドナー登録をお待ちしています！

登録は献血ルーム等で18歳からできます！白血病患者さんは骨髄を提供してくれるドナーが必要です。しかしドナーが足りない...

現在、骨髄移植ができる患者さんは **約55%**

2017年12月より公式Twitterを開始しました！

日本骨髄バンク TEL 03-5280-1789

4 ドナー助成制度導入、全国で364市区町村に

新たに全国41の自治体で、骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が導入されました。全国で364市区町村となります。

また宮城県、広島県、香川県では県内市町村がドナー助成制度を導入した場合、その費用の半分を県が補助する制度がスタートしました。すでに導入している東京都、埼玉県、京都府等12カ所を含めて全国で15都府県になり、今後、各県内市町村での導入推進が期待されます。

当法人ホームページにお問い合わせ先一覧を掲載しています。[HOME>ドナー登録されている方へ>骨髄・末梢血幹細胞の提供までのながれ>提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体]

■新たに導入した自治体

- 大鰐町（青森県） ○高崎市（群馬県） ○下野市（栃木県）
- 市原市、印西市、鎌ヶ谷市、木更津市、君津市、佐倉市、流山市、成田市、野田市、八千代市（以上千葉県）
- 千代田区、港区、国立市、国分寺市、狛江市、立川市、東大和市、福生市（以上東京都）
- 美濃加茂市（岐阜県） ○池田市（大阪府） ○海南市（和歌山県） ○尾道市（広島県）
- まんのう町（香川県） ○東洋町（高知県）
- 国東市、日出町、九重町、玖珠町、佐伯市、竹田市、津久見市、杵築市、姫島村、豊後大野市、豊後高田市、別府市、由布市（以上大分県） ○那覇市（沖縄県）

5 非血縁者間採取施設の新規認定について

下記の3施設が新たに非血縁者間採取施設として認定されました。

■非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設

- ・熊本大学医学部附属病院

■非血縁者間末梢血幹細胞採取施設

- ・山形大学医学部附属病院
- ・国家公務員共済組合連合会浜の町病院

これにより骨髄・末梢血幹細胞採取施設は183施設、および末梢血幹細胞採取認定施設は106施設となりました（2018年3月末現在）。新規認定施設は当法人ホームページでもご覧いただけます。

*HOME>患者さんへ>移植認定病院 または ドナー登録されている方へ>面談施設一覧

6 当法人の会議等開催予定

会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	4月27日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	5月17日（木）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 2018年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定更新の結果について ＜認定施設の医師の方へ＞

2018年度非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設の年次調査結果について、下記のとおりご報告します。

○骨髄採取施設：調査対象は187施設で全対象施設が承認されました。
(※採取免除認定施設は6施設)

○末梢血幹細胞採取施設：調査対象は103施設で全対象施設が承認されました。

8 【緊急安全情報】骨髄採取後、点滴台に設置されたコレクションコンテナが落下、 骨髄液の一部が流出した事例について（ご報告）

骨髄採取後、濾過のためコレクションコンテナの上部にあるハンガーを使用し、点滴台に設置後にコレクションコンテナが落下、骨髄液の一部が流出した事例が報告され、4月4日に全国の認定施設に対して緊急安全情報を発出しました。詳細は別紙をご確認ください。

9 【安全情報】機器トラブル等のため、採取時間等が変更となった事例について

末梢血幹細胞採取術において、機器トラブルおよび検査技師急病のため、採取時間等が変更となった事例が報告されました。ドナー安全委員会（3月11日開催）で審議の結果、対応を周知することになりました。詳細は別紙をご確認ください。

10 女性ドナーの方に対する「妊娠」（避妊）に関する説明について（ご報告・ご依頼） ＜コーディネーターの方へ＞

骨髄採取直前（Day-4）、妊娠5週であることが判明し、採取中止となった事例が報告されたことを受け、「妊娠」（避妊）に関する説明の徹底をお願いしたところです（2月21日付通知「女性ドナーの方に対する「妊娠」（避妊）に関する説明について」）。

本事例を受け、ドナー安全委員会（3月11日開催）における審議結果をふまえ、コーディネーターの方は別紙のとおりご対応をお願いします。

11 ドナー適格性判定基準の変更

「ドナー適格性判定基準」の以下の項目を変更しました。詳細は別紙をご参照ください。

【眼科】色覚異常 / 夜盲

12 「ドナーのためのハンドブック」（第4版第2刷）の発行について

「ドナーのためのハンドブック」を一部改訂しました（第4版第2刷）。今回は、改正個人情報保護法施行に併せ「個人情報の取扱いについて」の変更のほか、資料編のデータ等を更新しました。コーディネーター、調整医師、採取責任医師の方にはマンスリーJMDPに同封しています。

※詳細は新旧対照表をご覧ください。

■運用

改訂版は5月1日から使用を開始します。コーディネーターは面談時に新旧のハンドブックを持参し、ドナーの方が持参された版でご説明をお願いします（差し替え不要）。

13 「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」の改訂について【予告】

日本造血細胞移植学会と共同で発行している「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」を改訂し、第3版第1刷として発行する予定です。今回は、自己血貯血直前の抜歯に関する注意等の追加と、血縁ドナーの「フォローアップアンケート」終了に伴い一部文言を削除しました。

なお、運用、配布時期等については、次回マンスリーJMDP5月号にてお知らせします。

14 連絡事項**■GW期間の確認検査・再検査実施とSRL予約について****<確認検査>**

ドナーがすでにHLA（DNA）の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。

- ① 一般血液検査およびHLAビーズ法を行う場合
⇒ 4/26（木）、4/27（金）、5/1（火）5/2（水）は実施不可
- ② 一般血液検査のみ・確認検査再検査
⇒ カレンダーどおり実施可能

<SRLの予約>

5/7（月）、5/8（火）、5/9（水）の予約は、4/25（水）14：00のハルフト送信まで

■改訂版チャンスの送付について

改訂版「チャンス」を同封します。

■平成30年度コーディネーター研修について

コーディネーターの方には別紙「平成30年度コーディネーター研修について」を同封しますので、ご参照ください。

■各種データについて

今号では、マンスリーJMDPに毎号掲載している「コーディネート件数（月次実績）」のほか、「コーディネート件数（2017年度実績）」「コーディネート期間（2017年度実績）」「終了理由別終了件数（2017年度実績）」を同封しています。